

子育てをとおして会える「友人とのつきあい」はなよりの励みや楽しみでもあるが、その一方で、相手によっては深刻な悩みの種にもなっていた。また、「子育ての楽しさ」や「生活満足度」の設問で不満を訴えた母親たちの多くは、育児生活の気がかりとして、対人関係の悩みを綴っていた。

ここでは、それらの中から、とくに目立った友人、姑や親戚、夫との対人関係の苦悩を具体的な記述をとおして紹介したい。

▶ 近所づきあい・子どもの母親同士

「集合住宅の育児サークルのつきあいは大変。お母様同士のお茶飲み話は他人の噂話、先生や園長の悪口、他人の子ども比べてとてもゆううつ。この住人がまた、同じ小学校に行くので、親がトラブルでも起こそうものならここに住めなくなる」(年少男子/第3子/33歳)

「園へお迎えに行くとき、決まって同じメンバーの何人かの方が直接、娘に「今日〇〇ちゃんのお家へ行くのだけれど一緒に行く?」と聞くので、娘は喜ぶが、こちらは週2~3回もあると、下の2歳の子の昼寝時間などいろいろ不都合もあり、誘われるのが億劫です。皆さんいい人だけに…」

(年長女子/第1子/37歳)

「同じマンションで親も子も少し年齢が上だというだけで仕切ってしまう人がいて、子どもたちを思慮の浅い考えで押さえつけています。考えを改めてほしいと頼んだところ、今度は娘だけを仲間はずれにされました。子ども同士のいじめには、親の教育方針が大きく影響していることを痛感しました」(小1女子/第1子/34歳)

▶ 姑や夫の親戚

「夫は嫌いじゃないけど、夫の両親は絶対イヤ! いつか同居しなくてはならないが、そのときは二人の子どもを連れて家を出ます。

でも、先立つものがないのが不安」(年中女子/第1子/32歳)

「姑と対立しているわけではないが、母親が二人いる感じです。私が言うことを二度三度言ったり、細かいことまで母親の役割をしてくれます。これから、子どもが成長していく上でどのように、姑とうまくやっていくといいのでしょうか」(年中男子/第3子/34歳)

「姑や嫁に行った義姉が、私の実家や兄弟のことをひがんで、自分のやり方と違うと騒ぐので、ストレスがたまる。でも、主人は身内の悪口を聞けばおもしろくないだろうから、言えずに苦しい」(小2女子/第4子/39歳)

▶ 夫とのコミュニケーション

「子どもはとてもかわいいが、夫とはうまくコミュニケーションがとれないので、息苦しく感じる。年齢も離れているので体力的にも差が出てきて、とてもいやだ」(年少女子/第3子/33歳)

「子育ての中で夫との性格や考え方の違いが際立ってきた。また、仕事が忙しく、ほとんど子どもと顔をあわせないので、父親をどのように感じて男の子が成長するのか、将来への影響が心配」(年少男子/第3子/40歳)

「家庭より自分の遊びが先で、たまにしか子どもと接しない。離婚したいと言ったが応じてくれない。夫としても父親としても失格だと思うのだが」(年長女子/第1子/28歳)

「父親の帰宅時間が深夜(11:30~1:30)に及ぶため、父子のコミュニケーションの時間が少ない。休日にも夫が無口なため、密度の濃い父子のふれあいが無い。母親にすべて全般の負担がかかり責任が重い。社会で子どもを育てる意識は失われている昨今、核家族の母親は子育てをつらく感じても当然なのではないか」(小2女子/第2子/30歳)